

明昭 感染対策委員会 冬号

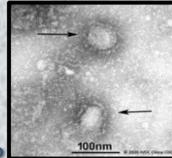
だより R2年2月

新型コロナウイルス

2019年12月31日 中国の武漢市において新型コロナウイルスが発生した。

コロナウイルスとは？

多数のウイルスを含む集団の総称で、ヒトと動物の両方に感染する。ヒトに感染すると一般的な風邪から重度の呼吸器疾患を引き起こす。



過去に流行したコロナウイルス

・SARS(重症急性呼吸器症候群) 「キクガシラコウモリが自然宿主」

期間→2002年11月～2003年7月 (日本における発症例なし)

感染→約8000人(774人死亡)

症状→2～10日の潜伏期間を経て発症。症状は突然の発熱・震え・筋肉痛など。その後、咳(乾性咳)を呈する・消化器症状として下痢がみられる事も。また、肺炎やARDSにより急速な呼吸器症状悪化を起こす事もある。

・MERS(中東呼吸器症候群) 「ヒトコブラクダが自然宿主」

期間→2012年6月～ (日本における発症例、報告なし)

感染→約2490人(約850人死亡)

症状→4～14日の潜伏期間を経て発症。症状は発熱や咳などの呼吸器症状。消化器症状として下痢を伴う事が多い。呼吸器症状の重症化により急性呼吸窮迫症候群を発症する事もある。その他、腎不全を含む多臓器不全や敗血症ショックを伴う場合もある。

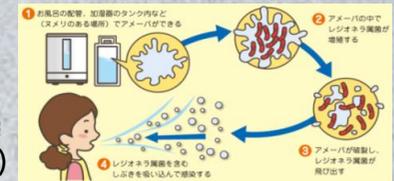
コロナウイルス 予防策

SARSウイルス・MERSウイルスともに、咳や痰、くしゃみなどによる飛沫感染や、感染者との接触感染(病状介護や排泄物など)が感染源となっています。その為、新型コロナウイルス予防としても、「マスクの着用」「手洗い・うがいの徹底」などの感染予防対策をしっかりと行う事が重要です。

レジオネラ症

レジオネラ症とは、「レジオネラ属菌」によって引き起こされる感染症。「在郷軍人病」とも言われる。

レジオネラ属菌は、水が存在する環境中においてみられる常在菌であり、一般に20～50℃で増殖し、36℃前後が最も増殖に適した温度である為、お風呂や加湿器内でも増殖がみられる。



感染経路→レジオネラ属菌に汚染されている水滴(しぶき)を吸い込む事で感染(ヒトからヒトへの感染はありません)

症状→重症化傾向の強い「レジオネラ肺炎」と一過性の「ポンティアック熱」

●レジオネラ肺炎

潜伏期間…2～10日

主な症状

・発熱、頭痛、下痢
・筋肉痛、関節痛
・意識障害、手足の震えなど



●ポンティアック熱

潜伏期間…1～2日

主な症状

・発熱、悪寒
・筋肉痛など
(インフルエンザの様な症状)



インフルエンザ

インフルエンザの流行は1～2月がピークです。なぜ冬に流行するのかというと、ウイルスは乾燥・低温を好む為、冬の気候が好条件なのです。

またウイルスは主に、感染者のくしゃみや咳から感染します。「手洗い」「うがい」をしっかりと行い、感染予防に努めましょう。



豆知識

納豆を食べて感染症予防？ (「納豆菌」による感染症予防)

インフルエンザウイルスに対して、「S-903納豆菌」という菌株による感染症予防効果が確認されています。更に、インフルエンザ感染後にも体内での抗体生産量を高める効果もあり。毎日の食事で感染症を予防する事も…。

